

牧野富太郎の生き方

牧野富太郎の原点は、《この植物はなんだろう》という好奇心だったと考えられます。富太郎はよくこういいました。『理由と言うのではないんです。ただ植物がすきなんです』

時間がたつのを忘れ、寝る間を惜しんで熱中するものを、いまみなさんは持っていますか？どんなことでもいいので、熱意を持って自分が信じることを貫けば、たとえ苦勞が多くても自然と道が開け、人生は幸せなものになる…富太郎の生き方は、私たちにそう教えてくれている気がします。国立科学博物館植物研究部 田中伸幸